



早いもので、2003年も残すところあとわずかとなりました。今年は例年に比べ、暖かい日が多く過ごしやすい日もありますが、だんだんと冷え込みが厳しくなってきました。体調をくずさないよう規則正しい生活を送り、うがい・手洗いを徹底し予防につとめましょう。

また、8月に新クリニックの開院を迎え、当クリニックにとって飛躍の年となりました。来年も職員一同一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

院長のお話



インフルエンザの予防

今年もインフルエンザの流行する季節が近づいてきました。毎年この時期になると、インフルエンザの予防接種をしましょうと皆様にお伝えしております。

先日、インフルエンザの勉強会に出席しましたところ、小児科の先生より、「1歳未満はワクチンをうっても抗体がつきにくいので、ワクチンを接種するよりも抗インフルエンザ薬で治療すべきではないか」という声を聞きました。

確かに、1歳未満はそれ以降の児に比べて抗体獲得の割合が低くなります。しかし、抗インフルエンザ薬は1歳未満の乳児には適応がありません。製薬会社の添付文書には、「1歳未満の乳児に対しては安全性が確立していない。」と明記されています。これは何を意味するのかというと、「薬を飲んで何かあっても、製薬会社は責任をとりません、飲んだあなたの責任か処方した医師の責任です。」ということを意味します。このような薬を1歳未満の乳児に積極的に使用することは、医師として倫理上問題であると私は考えています。(ただし、脳炎が疑われ、救命上やむを得ない場合は別です。)

反対にワクチンについては1歳未満の使用量もちゃんと明記されており、1歳未満の乳児に対する使用も前提に作られています。

また、脳症の発症はインフルエンザ発症後数時間のうちに起きます。インフルエンザを発症して医療機関を受診し、抗インフルエンザ薬を処方してもらい内服を始めても間に合わないケースが多く見受けられます。

やはり、インフルエンザの予防はワクチンが1番であると私は考えています。

もっと大切に使って!



当院は子供たちが飽きないように絵本やおもちゃを備え付けています。設置するのであれば、子供たちの喜ぶもの、子供たちにとってプラスになるようなものかと考えています。しかし、本が破れていたり、おもちゃが壊されていたりしてもそのまま放置されていることがよくあります。後で、職員が片付けるときに気づいて修理したりしています。子供が本を破ったり、おもちゃを壊したりした時は、物を大切に扱わなければいけないことを教える絶好の機会なのです。しかし、多くの親は子供のしたこと気づいていないか、気づいても知らんぷりです。

誤って物を壊してしまうことは誰にでも起こりうるし、仕方のないことです。でも、そうなった時、どうしなければいけないかを教えてあげるのが親の役目なのです。「すみません、子供が誤っておもちゃを壊してしまいました。」と一声かけてくだされば、「何でそんな事をするんだ!」などとは決して申しません。親の、そのような姿を見て、子供はどう対処すればよいかを学習していきます。

親は子供たちの手本であり、子供たちの行動に対して責任を持つべきであると思います。

物を大切に扱い、使用後はもとの場所にきちんと戻すことを教えてあげてください。

当院にはいろいろなおもちゃを用意しておりますが、自分の家とは違い、自分だけの物ではなく、他の子供たちもそれを使います。そのためにはどのように行動しなければいけないかを教えるよい場所でもあります。私共は、子供であっても一人の社会人としての人格を尊重しております。そのためには、社会人としてのルールを身に付けさせる教育を心がけてみて下さい。それは、親として大切な役割の一つなのです。

あいさつはコミュニケーションの始まり

私は診察をする前に、どんな小さな赤ちゃんであっても必ず「こんにちは」と声をかけてから診察を始めるようにしています。

ほとんどの子供は「こんにちは」と挨拶を返してくれます。これにより、お互いに相手の存在を確認し合いその後の会話や診察を始める準備が整うのです。

中には挨拶をされても知らんぷりの子もいます。体調が悪くて返事ができない子もいますが、挨拶という習慣がないのではないかとこの子も見受けられます。

挨拶をされて気分を害する人はいません。とくに、小さい子供から「こんにちは」と声をかけられたら、思わず笑顔で応えてしまう人がほとんどではないでしょうか。

挨拶をする時の声の様子、顔つきを見るだけで、「今日は調子が良いな」とか「今日はご機嫌ななめだな」とかいろいろな情報を読み取ることができます。

外に出たときだけでなく、家庭でもぜひ挨拶をかわす習慣をつけてください。「おはよう」「おやすみ」「いってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」こどものわずか一言の言葉の中にいろいろな情報をくみ取ることができます。そして、この挨拶をきっかけにいろいろなお話をしてください。

自分の胸のうちを人に話す事によってスッキリしたという経験は誰にでもある事だと思います。人に自分の思っている事を話すのはストレスの解消にもよいからです。